

目標 豊かな自然や文化を、未来にも引き継ぐ！

目標達成のための方針 農家さんとの交流を深め、大宮の宝である田畑や緑の価値を高めよう！

目標達成のための取組アイデア ① 農家さんと仲良くなり、大宮の農地の現状を知ろう。

田畑、菜園、花畑、実のなる木を庭からまちに広げよう！

- ② 大宮産野菜の調理くずをつかった家庭菜園プロジェクト。調理くずを庭で堆肥化し、家庭菜園を増やすことで、個人からまちへ緑地や田畑を拡大したい！
- ③ 「100円野菜市マップ」の作成やファーマーズマーケットを開催したい！
- ④ 野菜の自販機増やしたい！（暗くなったらときの防犯灯にもなる！）※LEDで省エネ型に！
- ⑤ 案内会・花畑プロジェクト！ 各家の庭を花で一杯にして緑が集まってくるようなきれいで楽しいまちにしていきたい！
- ⑥ 各家の庭、街路、公園、校庭や運動場に食べられる実のなる木を増やし、収穫祭を地域で楽しみたい！

子どもと一緒に、こどもに帰って楽しもう！

- ⑦ 公園の植栽の自然度を高めることで、山に棲む虫や鳥などを導くビオトープ・ネットワーク（生き物の生息地をつないで行き来できるようにする）を作り出し、まちじゅうでこどもたちと昆虫採集やバードウォッチングを楽しみたい！
- ⑧ みんなで集い合う機会として公園を活用したイベント（可能ななら落ち葉で焼き芋・芋煮会や消防訓練など）がしたい！
- ⑨ 本来の公園の役割を問い直し、日頃整備の行き届かない公園を一斉清掃するなど、気持ちよく使える場所にしたい！

大宮の伝統や文化を身近に楽しもう！

- ⑩ 多くの自然や歴史が残る氷室ヘビニック！
- ⑪ 船山や穴蔵念仏など、大宮の伝統行事に誇りを持って次の世代へ継承していくために、昔の暮らし、文化を気軽に楽しむ会の実施（社協文化振興会なども実施）。
- ⑫ 「ふるさと大宮」結屏風作成プロジェクトの推進；社協環境部会が取り組む、50年前の区画整理以前の大宮の記憶を後世に伝え、温故知新で将来の大宮の担い手を育成する活動で、絵師が結屏風を作成中。それを活用して「昔の遊び」や語り部の会、まちあるきの実施を！

目標 地域のつながりをさらに紡ぎ出し、いつまでも住み続けたいと心から思える地域に！

情報の共有や支援体制の整備などを図り、町内会運営を円滑に進めよう！

- ⑬ 町内会長さん同士の情報交換会を開催し、知恵を出し合う相談体制の整備（心理的負担の軽減）。
- ⑭ 「GOOD！町内会」の選出と情報発信；町内会長の役割、負担を減らす工夫や実践例、「こんなときどうしたらいい？」というQ&Aなどを紹介した「虎の巻」を作成する。
- ⑮ 学区内で活動しているクラブなどの活動情報が見られる情報媒体をつくる。
- ⑯ 「こんなことできる人！こんなこと得意な人を求む！」という求人情報を発信する！（個別具体的な情報発信やSOSを出すことでそれに応えてくれる人は必ず現れる！）

活動に関わった人、役についた人と、楽しく無理なく交流できる機会を増やしていこう！

- ⑰ 住民、特にこどものニーズを把握するため小学校の先生との連携を図る。こどもの声から楽しい行事を各町内会、学区内で企画実施する→「芋煮」を介して大人同士のつながりもできる。
- ⑱ 「大宮クリーン」のように、「大宮クリーン」の日を年2回実施し、落ち葉を集めてみんなで焼き芋・芋煮大会！
- ⑲ 学区運動会のプログラムに50〜60代も楽しめる競技を入れる！（昔は町内対抗で合戦があった）

目標 ますます安心安全な、心地よい環境と人間関係を築いていきましょう！

関係機関との連携を強め安心安全の地域づくりを進めよう！

- ②④ 青色防犯パトロール。を強化。青色のパトカーをもっと増やそう！
- ④ 以前作成した防犯マップ、防災マップ、避難マップを街歩きなどに活用しよう！

誰一人取り残さないために、こどもに関わる団体間の連携を強め、こどもから高齢者まで安心して、楽しく過ごせる地域づくりを進めよう！

- ② PTAが管理している「こども110番の家」の方とこどもたちを引き合わせる企画をつくる！
- ③ 朝の登校時の見守り隊の活動の強化について、社協と大宮小学校が協議する。
- ④ 児童館からのこどもの下校の安全、見守りについて、地域でできることはないかを検討する。
- ⑤ 公園を人の目の行き届いた、こどもがタバーなく思いっきり楽しめる空間にする。（④⑤とも運動）
- ⑥ 独居高齢者や施設の高齢者と地域とがつまくマッチングできる機会、交流できるプロジェクトをつくる。

大学や地域の各機関との連携を強め、こどもや高齢者をはじめ多様な世代の地域住民にとって心地よい環境と関係を築いていきましょう！

- ⑦ 交通ルール、マナー向上の意識を高める。特に大宮学区に下宿、登下校で大宮を通過する大学生の交通安全意識・マナー向上のための講習会、ワークショップなどを近隣大学、区役所、警察などと連携して実施。
- ⑧ 商業施設商店街と連携し、各商店にとっても、お客さんにとっても、地域にとっても「三方よし」となる活動をはじめ。
- ⑨ まずは空き家から空き店舗マップの作成から！
- ⑩ 近隣学区とも連携し、学区内の公共交通（市バス）をだれにとっても使いやすいものにし、車がなくても移動しやすい仕組みをつくる。

●表紙のデザイン

「家族でいっしょに見る船山の送り火」をモチーフに使用させていただきました。
「みんなで力を合わせて、私たちの大宮学区を大きな紙に！ 紙版画で描こう！」
（主催：大宮学区社協環境部会／2018年10月20日）に参加した12人の大宮のこどもたち“大宮ふるさと絵図制作こどもチーム”が描いた作品で、全国こども版画コンクールで佳作を受賞しました！

発行：大宮学区ビジョン策定委員会
（大宮学区社会福祉協議会、大宮学区町内会連合会）

協力：立命館大学産業社会学部 永嶋篤先生、ゼミの学生の皆さま
龍谷大学大学院政策学研究所 風岡宗人さん
京都市北区役所地域力推進室

平成30年度北区民まちづくり提案支援事業として採択されています。

この印刷物は、自然エネルギー（風力発電36kW）を活用して印刷しました。



大宮

3つの目標と
6つのリーディング・プロジェクト
まずは、こんなことから
はじめませんか！

6つのリーディング・プロジェクト

公園活性化・魅力向上プロジェクト

せがくの公園も、手入れされなければこどもの遊び場や住民の憩いの場として活用できません。見直しも悪くなり衛生上、防犯上も問題です。そこで、公園の本来の機能を再生するとともに、最大限活用しようというプロジェクトです。

こんなことから始めていきたいと思います！

- 1 公園に関わる悩みや問題の相談窓口をつくります。
- 2 公園で楽しめるイベントづくりをサポートします。
- 3 近隣の町内で手に入れない公園には「大宮学区公園清掃レンジャー（仮称）」を派遣します。

「ふるさと大宮」絵屏風作成プロジェクト

区画整理以前の大宮の暮らしの記憶を日本画の絵師が屏風に描きます。作品を活用し、これまでも振り返し、将来のまちを担うこどもや、まちづくりの担い手を発掘しようというプロジェクトです。

こんなことから始めていきたいと思います！

- 1 絵屏風にどのような「記憶」を盛り込み、デザインや活用法について一緒に考えるワークショップを開催します。
- 2 大宮のまちを知る学習会やまち歩きなどのイベントを開催します。
- 3 絵屏風が完成したら、こどもたちがいつでも目にする場所（例えば大宮小学校）に設置し、地域学習の授業で活用します。

「ほっとかへん！」みんなつながるプロジェクト

大宮学区に住まうだれもが必要な情報にアクセスできる、「誰ひとり取り残さない」情報発信・コミュニケーションの仕組みをつくるプロジェクトです。

こんなことから始めていきたいと思います！

- 1 西賀茂会館に、地域で活動するクラブや地域の活動について知ることができる掲示板を設置します。掲示板には活動紹介のほか、「こんなことできる人」「こんなこと得意な人を求む」という求人広告など「大宮人材」を発掘するような、共助による助け合いを促進する情報を掲示します。
- 2 西賀茂会館や学校などの施設に、「うちの近所ここが問題！」など、住民のみなさんが感じる小さな問題から大きな問題まで学区全体で共有し、課題解決につなげていくためのご意見BOXを設置します。
- 3 地域情報をタイムリーにお届けするWEB版ポータルサイト・SNSの運営、ニュースレターを配布します。

大宮の野菜・地産地消とまちの安心安全・一挙両得プロジェクト

大宮では美味しい野菜がたくさんとれます。地元大宮産の野菜をもっと食べて、明るく楽しく健康で、エコロジカルな生活を支援するプロジェクトです。

こんなことから始めていきたいと思います！

- 1 人吉学区の農家さんと協力し、西賀茂会館などで市場を開きます。
- 2 野菜の自産機を置いてくれる農家さんを募集します。
- 3 2の自産機にLED照明をつけて夜間でも明るく道を照らします。
- 4 大宮産野菜マップを作成し、気軽に買い物できるよう情報発信します。

こどもを地域で見守るプロジェクト

「こども110番のいえ」を渡し、こどもからお年寄りまで交流を生み出すことで、大宮学区に住まうだれもが心安らか・安全に「このまちに住んで良かった！」と思える人を増やすプロジェクトです。

こんなことから始めていきたいと思います！

- 1 PTAや社協各種団体、学校運営協議会など連携し、スタンプラリーなど「こども110番のいえ」を回るしめかけをつくり、住民とこどもの顔の見える関係を構築します。
- 2 夏まつりなど、既存の地域イベントと連動し、賑わいづくりなどの相乗効果も図ります！

「GOOD 町内会」の選出と表彰・ノウハウ共有プロジェクト

日頃の「つながり」は万が一の際のセーフティネット！だれもが「一度は役を体験したい！」と思える町内会づくりのためのプロジェクトです。

こんなことから始めていきたいと思います！

- 1 各町内会長から、日頃実践している町内会運営のコツ、ノウハウを聞き出します。
- 2 町内会長さん同士の情報交換会の場をつくり、経験や知恵を出し合います。
- 3 町内会長の役割、負担を減らす工夫や実践例、「こんなときどうしたらいい？」というノウハウをまとめた「GOOD 町内会事例集」を作成します。
- 4 「GOOD 町内会事例集」掲載事例から特に優れた取り組みを「BEST 町内会」として表彰します。

3つの目標

目標 豊かな自然や文化を、未来にも引き継ぐ！

3つのリーディングプロジェクト
取り組みのアイデア1～12

田畑や自然、文化や歴史は大宮学区のアイデンティティであり、これからも大切にしたい魅力です！それぞれが関わりをもち、自然や文化を満喫して、大宮の魅力を次世代に引き継いでいきましょう！

目標 ますます安心・安全な、心地よい環境と人間関係を築いていきましょう！

1つのリーディングプロジェクト
取り組みのアイデア13～30

300世帯程の大宮村が、この60年間で7,700世帯が暮らす大きな学区になりました。多様な世代が心地よく暮らし、こどもから高齢者まで元気に過ごせるよう、日々の安心・安全づくりを無理なく、楽しく進めていこう！

目標 地域のつながりをさらに紡ぎ出し、いつまでも住み続けたい心から思える地域に！

2つのリーディングプロジェクト
取り組みのアイデア31～38

農村から都市へと風景は大きく変わりました。しかし、地域の絆は継がれと育まれてきています。暮らし方の多様化が進む中でこそ、こどもから高齢者まで人と人、人と地域のつながりを無理なく、楽しく育んでいこう！

大宮学区まちづくりビジョンは、学区民のみなさんと、まちづくりの方向性を共有し、共に進めていくための道標です。これからも住みやすい町であり続けるために、3つの目標を掲げ、30の取り組みアイデアが生まれました。リーディングプロジェクト（まずはこれから始めよう、活動しやすいものなど）を中心に、目標の実現に向けて少しずつ前進していきましょう。
※まちづくりビジョンは、平成28年3月に策定された「北区基本計画～北区民つながるプログラム～」において、京都市北区内全学区で策定を目指しているものです。

いっしょにやってもええ！
もっと詳しく知りたいんやけど……
お気軽なご連絡ください。

西賀茂会館（北区西賀茂神光院町118）
電話 075-492-0363



ウェブサイト
<http://r.goope.jp/omiya2525/>



Facebook ページ
<https://www.facebook.com/syakyu2525/>